

# *Automotive Technology* **AT International 2009**

カーエレクトロニクスで進化する自動車技術の専門イベント  
GLOBAL MOBILITY INNOVATION



会期 2009年  
7月15日[水]. 16日[木]. 17日[金]

会場 パシフィコ横浜

主催 日経BP社

<http://expo.nikkeibp.co.jp/ati/>



## 2009年のテーマは 「グローバル・モビリティ・イノベーション」、 新たな技術革新の波がクルマの進化を加速します。

日経BP社は、カー・エレクトロニクスをテーマに掲げた初の国際展示会「AT International」を2008年7月に開催しましたが、180社が出展した会場に2万人を超える来場者が足を運んでくださり、成功裏に第一回の幕を閉じることができました。自動車産業とエレクトロニクス産業のエンジニア間において、将来のクルマについて多くの議論を巻き起こせたことと、多くの人に最新テクノロジーについて情報発信できたことに、主催者としても大きな手ごたえを感じた次第です。

さて、日経BP社は早くも次回の開催に向けてスタートを切りました。今年の議論をさらに加熱させると同時に、来年にふさわしい話題を求めて、日経Automotive Technologyおよび日経エレクトロニクスの編集部は企画立案に取り掛かっています。

2009年のテーマは「グローバル・モビリティ・イノベーション」——世界規模で、クルマの新しい技術革新が起こり、既存のモビリティの考え方を大きく飛躍させるアイデアが来年の展示会にて披露されることでしよう。そこで三つのサブテーマを設定します。

**1) クルマの電動化：**ハイブリッド車から未来のプラグイン電気自動車まで、電池の技術革新がもたらすクルマの進化論にフォーカスします。

**2) クルマの知能化：**マイコンの高性能化やセンサの多彩化、そしてソフトウェアの高機能化によって、クルマのインテリジェント化が加速しています。より安全で、より楽しいクルマの実現に向けた最新技術をお届けします。

**3) クルマとIT：**クルマのネットワーク化はとどまるところを知りません。車内LANという神経網によって各電子部品がつながったばかりでなく、クルマは社会インフラとも接続し始めています。クルマがITのエンタープライズ・システムとつながると、何が起こるのか——未来を見通します。



こうした個々のテーマについて、前回以上に国際化を強めた議論を展開することをお約束します。「ドイツ」「中国」「インド」を重点的な地域と位置づけ、それぞれの地域における自動車産業のトピックスが将来のグローバルな市場にどのような影響を与えるかについて議論を深める予定です。

さて、2009年7月、パシフィコ横浜に舞台を移してみなさんと再びお目にかかり、自動車技術の未来について語り合える日が来るのを今から心待ちにしております。

日経Automotive Technology/日経エレクトロニクス 発行人

浅見 直樹

開催概要

# AT Automotive Technology International 2009

カーエレクトロニクスで進化する自動車技術の専門イベント

2009. 7/15[水].16[木].17[金]. 10:00 >> 17:30 (17日は17:00終了)

会場 パシフィコ横浜(A・B・Cホール、アネックス)



主催：日経BP社

後援：総務省、経済産業省(以上予定)

協賛：社団法人日本自動車工業会、社団法人日本自動車部品工業会、社団法人日本電気計測器工業会、  
社団法人組込みシステム技術協会、特定非営利活動法人ITS Japan、有限責任中間法人JASPAR、  
インターネットITS協議会(以上予定)

協力：日本経済新聞社、テレビ東京(以上予定)

展示会入場料：2,000円(Webサイトからの事前登録、招待券持参者は入場無料)

中核来場者：自動車および自動車部品、車載部品・システムの設計・開発・製造に関わる技術者、  
研究開発者、経営者

予定来場者数：25,000名(予定)

展示規模：200社/450小間(予定)

出展料金：一般43万円/小間(税別) 特別38万円/小間(税別)

※当イベントの協賛団体の加盟企業には特別料金を適用します。(詳しくはP9小間出展を参照ください)



展示会

# クルマの進化を推進する 最新テクノロジーが集結。

車載デバイス、ソフトウェア、計測機器などエレクトロニクス技術を中心とする最新の製品・サービスが出展対象です。



上記図はイメージです。

## ■ 出展対象分野

車載デバイス・電装品	》 CPU、セラミック発振子、キャパシタ、センサ、ECU、MEMS(圧力センサ、加速度センサ、ジャイロスコープ他)ディスプレイ関連(LCD、OLED、タッチパネル他)、モーター、バッテリー、燃料電池/充電、点火装置、TPMSランプ/照明制御システム、車輪安定制御システム、電子制御ステアリング
ネットワーク製品	》 ワイヤハーネス、ケーブル、コネクタ、MOST関連部品、FlexRay、CAN、LIN、その他ネットワークハード/ソフト
ソフトウェア・開発ツール	》 車載OS、ECUソフトウェア、ECU診断ソフトウェア、ネットワーク解析/診断プログラム、試験/評価ソフトウェアモデルベース開発/設計/検査ツール、自動コード生成ツール、HILS、SILS、組込みシステム・ソフトウェア開発
機構部品・材料	》 車体/シャシー部品、エンジン/駆動系部品、車内部品/材料、樹脂/金属/塗装
検査・測定機器	》 開発用計測機器、コンポーネント計測、各種センサ、テスタ、性能検査用計測機器、燃料計測、ドライブシミュレータ分析機器
カーナビゲーション・ITS関連	》 カーナビゲーション、PND、通信モジュール(携帯電話/Bluetooth/DSRC他)、テレマティクス、ドライブレコーダカメラモジュール、GPSモジュール、ETC、センサ、交通管理支援、道路管理効率化、運転効率化、安全運転支援環境対策

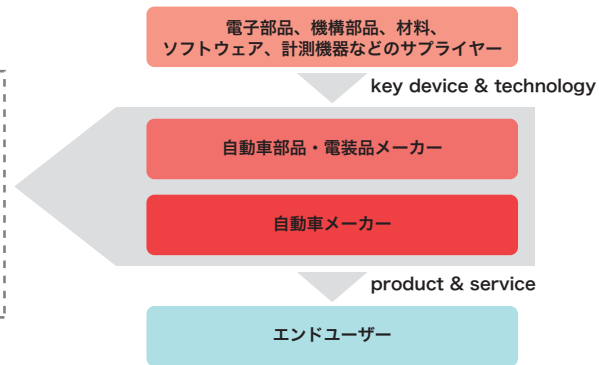
来場ターゲット・主催者企画

クルマづくりに携わるエンジニア層が中核来場者です。

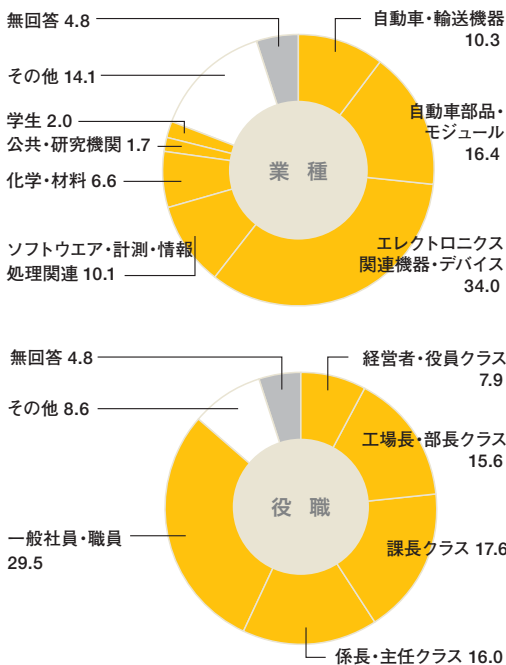
来場ターゲット

エレクトロニクスをはじめ、クルマの進化を加速する最新の製品・技術をクルマの作り手に…。

AT International 2009は、自動車メーカー、部品・電装品メーカーを中心に、クルマづくりに携わる第一線のエンジニア、研究者や経営者を動員します。



来場者プロフィール (AT International 2008)



※AT International 2008来場者の登録時アンケートより抜粋  
■有効回答数：16,909 ■数値はすべて%

主催者企画

展示会場ではシアターやパビリオンなど特別企画を通じて、グローバル・モビリティ・イノベーションを実現する注目の技術・製品動向を紹介します。



メインシアター



特別展示およびテーマパビリオン



※主催者企画の内容は決定次第、展示会ホームページなどでご案内いたします。

フォーラム

グローバル・モビリティ・イノベーションを実現する自動車技術の最新動向に関して多彩なセッションを用意。自動車の設計・開発に関わる技術者を中心に自動車・エレクトロニクス産業界の第一線で活躍される方々の集客をはかります。

クルマの進化の潮流を展望するキーノートセッション

キーノート  
セッション

専門  
セッション

最新のテクノロジーにフォーカスする  
専門セッション

キーノートセッション(基調講演)では、自動車メーカーや部品メーカーのキーパーソンを招聘し、今後の自動車技術の展望について、語っていただきます。

各専門セッションでは、現在自動車業界で注目のキーワードをピックアップ、最前線で業務に携わる技術者を中心に、講演やパネルディスカッション形式で行います。



2009年の専門セッションキーワード

クルマの知能化

ITSやプリクラッシュ・セーフティ・システムなどの安全技術と、カーナビや自動車向け情報提供サービスなど情報技術を中心に議論を展開します。

クルマのソフトウェア

車載ソフト開発の効率化を図るためのさまざまな手法・ツールについて、活用の最前線を解説します。

クルマの電動化

電動車両のキーテクノロジーとなる電池や駆動技術について、最新のハイブリッド車/電気自動車やLiイオン電池を中心に、最先電動駆動技術に迫ります。

クルマの電子プラットフォーム化

自動車向けソフトウェア基盤や車内LANインタフェース規格などの標準化に取り組むJASPARやAUTOSARから講師を招聘、最新の活動内容や策定状況などについて紹介します。

Automotive SPICE

開発プロセスの標準である「Automotive SPICE」に基づくアセスメントを、欧州の主要完成車メーカーがEUC部品サプライヤーに対して実施し始めています。注目されるその潮流について、最新動向を踏まえて解説します。

クルマの神経網

車内ネットワークの規格となるFlexRayやIDB-1394、MOSTなどの規格策定状況や実用化動向、開発の現状などを、関係企業のキーパーソンを中心に、解説します。



プロモーション

専門メディアと連携し、  
自動車の設計・開発に携わる技術者を集客します。

■ 来場者プロモーション計画

強力な専門メディアの連携により、自動車関連産業の技術・経営のキーパーソンを集客します。

<p><b>雑誌広告</b></p> <p>日経Automotive Technology 日経エレクトロニクス 日経BP社の技術専門誌 日経ものづくり 日経マイクロデバイス</p> <p>日経BP社発行の技術専門誌を中心に来場促進の広告を掲載し、技術者層へ広く告知します。</p>	<p><b>AT International Magazine 2009 (特別編集版)</b></p> <p>開催直前に64,000部配布!!</p> <p>AT International 2009開催に向け特別編集版を発行。64,000人の技術者等にリーチします。</p>	<p><b>インターネット広告</b></p> <p>74万人の技術者が登録する「Tech-On!」がイベント集客を強力にバックアップ。海外向けには「Tech-On! English」および「技術在線! (Tech-On! China)」を通じて幅広く集客を図ります。</p>
<p><b>新聞広告</b></p> <p>報道機関へのニュースリリース発信とともに専門紙、業界紙などへ広告を掲載します。</p>	<p><b>ダイレクトメール(DM)</b></p> <p>日経BP社保有の読者リスト、イベント来場者リストなどに無料招待DMを送付。また出展企業にも小間数に応じて無料招待DMを提供します。</p>	

Tech-On! English特設サイト

Tech-On! China特設サイト

公式Webサイト  
5月20日  
登録開始

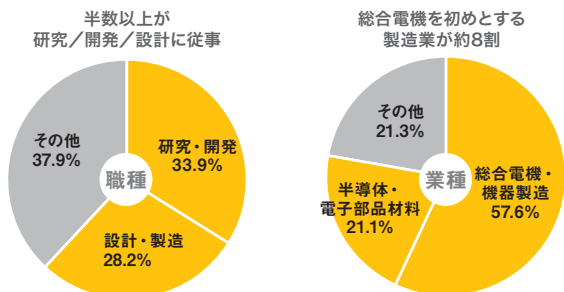
■ 中核メディア読者層

自動車メーカーと一次部品メーカー関係者を中心に、自動車作りに携わる技術者層が中核来場ターゲットです。

**NIKKEI ELECTRONICS** 日経エレクトロニクス

デバイス、回路、デジタル家電、携帯電話機、コンピュータなど、電子分野に関する技術、製品企画、産業動向を解説する総合情報誌。

●隔週月曜日発行 ●発行部数：41,090部



**日経 Automotive Technology** 自動車技術の総合情報誌

自動車・自動車部品メーカーの技術者向けに、最新の技術動向を提供。

●隔月発行 ●発行部数：12,000部

6割以上がクルマづくりに携わる技術者

自動車メーカーとクルマづくりを支える企業の技術者が中核読者

職種: 研究・開発 21.7%, 設計・デザイン 20.3%, 生産技術・管理 8.8%, 品質技術・管理 2.9%, その他 39.4%

業種: 自動車部品 28.3%, 自動車製造 18.4%, その他自動車技術関連 11.9%, エネルギー・材料 5.7%, ソフトウェア・情報処理 3.2%, その他 19.8%

## 小間出展

### ■ 料金

一般 / 1小間 **出展料 43万円(税別)**

下記団体の加盟企業には特別料金でご出展いただけます。

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| ・ 社団法人 日本自動車部品工業会  | ・ 社団法人 日本電気計測器工業会     |
| ・ 社団法人 組込みシステム技術協会 | ・ 特定非営利活動法人 ITS Japan |
| ・ 有限責任中間法人 JASPAR  | ・ インターネットITS協議会       |

特別料金 / 1小間 **出展料 38万円(税別)**

### ■ 小間寸法 (1小間の大きさ)

間口：3m  
 奥行：3m  
 高さ：1～3小間の場合→2.7m  
 4小間以上の場合→4m\*  
 (\*他ブースと隣接する壁面は2.7m)

### ■ スケジュール

**出展申込締切 2009年 4月17日(金)**

**出展社説明会 2009年 5月14日(木) (予定)**

### ■ キャンセルについて

#### ● 申し込み及び支払期限

- ・ 本申込書の事務局受理をもって正式契約とします。事務局から請求書を送付しますので、原則として契約日より1ヶ月以内に全出展料を当社指定の銀行口座へお振り込みください。
- ・ 小間単価については契約日基準で算定するものとします。

#### ● 解約

- ・ 出展社が出展申込後に申込小間の全てまたは一部を解約する場合は、必ず文書にて行わなければなりません。その際、次の解約料を申し受けます。出展申込書を主催者が受理した日をもって出展契約日とし、解約の場合①、②の内容に従い、請求書を発行いたします。

① 出展契約日から2009年5月13日までは出展申込小間料金全額の30%(税別)

② 2009年5月14日以降は出展申込小間料金全額(税別)

### ■ お申込方法

別紙「展示会出展申込書」に必要事項をご記入のうえ、事務局までお送りください。

※出展料金はスペース代のみで、レンタルブースは含まれておりません。

※3小間以下でお申込の場合はすべて列小間での出展となります。

※4小間以上でお申込の場合は、申込書に出展形状(列小間/ブロック小間)の希望をご記入ください。

### ■ 小間位置の決定

出展小間位置は申込日、出展規模、出展内容などを考慮の上、事務局にて決定し、出展社説明会で発表いたします。



## 出展パッケージプラン

より効率的な情報発信を実現する、多彩なPRプランをご用意しました。

	<b>プラチナ</b> 出展パッケージ セット特別料金 <b>800万円</b> (税別)	<b>ゴールド</b> 出展パッケージ セット特別料金 <b>500万円</b> (税別)	<b>シルバー</b> 出展パッケージ セット特別料金 <b>250万円</b> (税別)	<b>ATIマガジン</b> パッケージ セット特別料金 <b>110万円</b> (税別)
出展小間	10小間	6小間	4小間	1小間
フォーラム講演	1枠(45分)	1枠(45分)	—	—
ATIマガジンへの広告掲載	4色2ページ	4色2ページ	4色1ページ	4色1ページ
日経エレクトロニクス(9/18発売号)講演レポート掲載	4色2ページ	4色1ページ	—	—
日経Automotive Technology(9/29発売号)講演レポート掲載	4色2ページ	4色1ページ	—	—
ATI公式WEBサイトでの講演レポート掲載	4色2ページ相当	4色1ページ相当	—	—
展示会招待状(封筒)へのロゴ掲載	○	○	—	—
公式WEBサイトへのロゴ掲載	○	○	—	—
公式ガイドブック表紙へのロゴ掲載	○	○	—	—
公式ガイドブックへの広告掲載	4色2ページ	4色1ページ	4色1ページ	—
ブース上に吊下げバナー掲出	○	—	—	—
小間を追加の場合	38万/小間(一般/特別とも)			43万/小間(一般) 38万/小間(特別)
申込締切	2009年3月31日(火)			

※プラチナ出展パッケージおよびゴールド出展パッケージにお申し込みの場合、フォーラムでの講演内容は編集部と協議の上、決定させていただきます。

ご希望の講演内容によってはお申し込みをお断りする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※出展小間はスペースのみとなります。レンタルブースは含まれておりません。

## レンタルブース、備品など

1小間から3小間まで、レンタル部材を利用したリーズナブルな「レンタルブース」を用意しています。  
 ロゴや色の指定、装飾備品の追加なども対応が可能です。

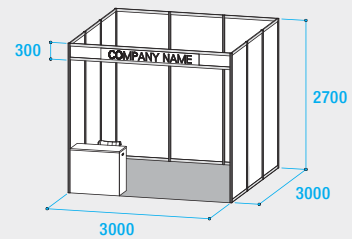
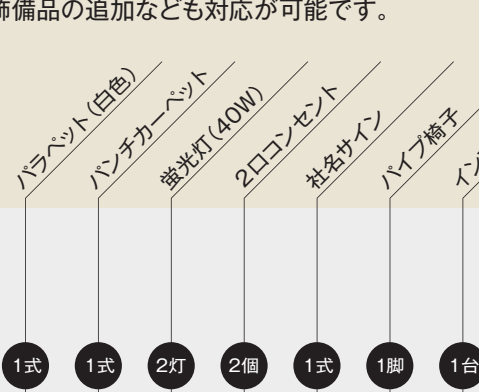
※下記料金には、出展スペース代は、含まれません。

### 基本タイプ 1小間

レンタル料

**10万円**(税別)

合計1kWまでの  
電気使用料金を含む

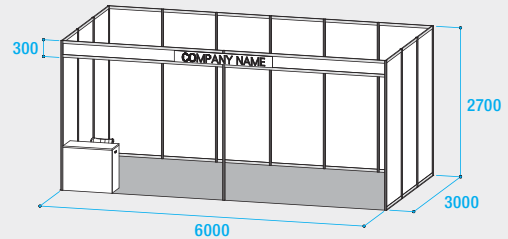


### 基本タイプ 2小間

レンタル料

**18万円**(税別)

合計2kWまでの  
電気使用料金を含む

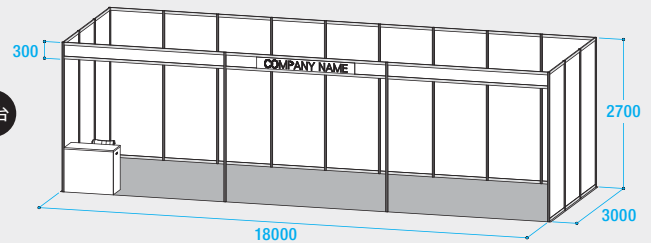


### 基本タイプ 3小間

レンタル料

**24万円**(税別)

合計3kWまでの  
電気使用料金を含む



### ■ 追加レンタル備品リスト (例)

展示台、カタログスタンドなど追加が可能です。その他の備品については事務局までお問合せください。

システム展示台 (W990×D495×H500/750/1000)	1台: 13,000円
システム展示台 (W495×D495×H500/750/1000)	1台: 9,000円
カタログスタンド(床置き/A4×12段)	1台: 5,600円
カタログスタンド(卓上/A4×3段)	1台: 3,500円
パイプ椅子	1脚: 640円
カウンターチェア (H500/600/750)	1脚: 3,200円
応接セット(テーブル×1、椅子×4)	1セット: 15,000円

※価格は税別です。



日経BP社 Nikkei Business Publications, Inc.

AT International 事務局 〒108-8646 東京都港区白金1-17-3 TEL. 03-6811-8081 FAX. 03-5421-9172 e-mail. [ati@nikkeibp.co.jp](mailto:ati@nikkeibp.co.jp)

<http://expo.nikkeibp.co.jp/ati/>